

### 鎌倉 地域のうごき

## 空き家対策は民間団体との連携で

保坂れい子（ネット鎌倉/市議）

ネット鎌倉では、岩崎忠さん（高崎経済大学教授・相模原市空家対策協議会会長）を講師に迎え、「かながわの空家対策の現状と課題」の学習会を開催しました。

空家対策の目的は、周辺に与えるマイナスの影響を取り除くことと活用です。取組みの主体は、不動産、法務系や建築系の専門家団体等の民間であることが望ましく、行政は情報提供を行うべきと強調されました。空家問題の周知・啓発とともに、相談窓口や空家バンク制度の開設・運営等には、外部とのネットワーク化が有効であり、民間が担う動きをつくることと大切だということでした。

学習会には、鎌倉市空家等対策協議会の委員や空家・空地の管理運営事業等に取組むNPO法人等も参加。空家を活用したコミュニティ・カフェや、

### 二宮 地域のうごき

## 議員年金に反対の意見書可決

一石ひろ子（ネット二宮/町議）

二宮町議会に「新たな議員年金制度を構築しないよう国に求める意見書」の提出を提案しました。これまでの議員提出議案の議論が町民に見えにくかったとの反省から、議会基本条例に則り、公開で議会全員協議会を開催し説明しました。

「働いているのだから年金の手当では不当である」「国会での議論の前に時期尚早である」「代案を示すべき」等の反対意見が出ました。そこで、賛同議員と「地域の

議論なしに一律の法案を出すことは時期尚早である」等の文言を加えて修正案を作成し、結果、7対6で可決しました。

旧制度廃止後も、町は退職議員にこれまで1億5千万円強の負担をしていますが、今の社会情勢で、付託された任期以外の生活保障をさらなる負担に求めることは、主権者の意に反します。引き続き新たな議員年金には反対し、税金を如何に使うべきか自治の議論を進めます。

### 二宮町議会議員選挙 神奈川ネット公認決定

現



いちいし 一石ひろ子

1959 横浜生まれ /1984 国立音楽大学卒業 /1999 生活クラブ生協に加入 /2005 二宮小学校の歩車分離信号の設置実現に取組む /2007~地域でコースによるボランティア活動実践 /2014 二宮町議会議員初当選

### 県議会 だより

## 改正災害救助法における 県の役割

佐々木ゆみこ（ネット宮前/県議）

南海トラフ地震や首都直下型地震等、巨大地震の発生が懸念される中、発災直後の救助・避難所の開設や応急仮設住宅の建設も含めた被災者対応の権限を、都道府県から政令市に委譲できるようにする改正災害救助法が、8日国会で成立しました。

これまでは食糧の確保や仮設住宅用地・資材の確保を広域的公平性の観点から県が担ってききましたが、迅速性に欠け、政令市に権限移譲されることになりました。県内には3政令市があり、県は改正にあたっては慎重な姿勢を表明しています。しかし、県民の2/3が政令市に集中しており、迅速かつ被災者の実情を的確に踏まえた救助を実施

するためには、財政力もある政令市の一刻も早い対応が求められます。一方で、物資や資材・人材が政令市に偏ることを心配する一般市との公平性を保つために、県として政令市と協定を結ぶなど、広域連携を可能とする環境整備を早急に整えることが必要です。

通勤通学等で県・市域を超えて移動する人が多いのも神奈川県の特徴であり、帰宅困難者への支援について、市町村と連携し解決すべき課題もあります。大震災だけでなく、台風や豪雨などの自然災害も多くなっています。命を守り、被害を最小限に止めることは政治の大きな役割です。県として優先して行うべきことを整理し、提案していきます。

### 2017政策プロジェクト報告書完成

- 新しい生き方・働き方研究会 子ども・子育て支援制度調査チーム 「まちをひろき子どもを育てる」
- 持続可能な環境をつくる政策・制度研究会 パワーシフト・もっと見える化アクションチーム 「自然エネルギーで暮らす未来へ」

【問合せ先】神奈川ネット事務局 ☎045-651-2011 E-mail:kgnet@kgnet.jp

### NPOメール No.89

## NPO法人ハッピーマザーミュージック 音楽を通じて豊かに子育てする力をつける

代表理事 鈴木美美子（市民社会チャレンジ基金第24期助成団体）

ハッピーマザーミュージックは、「音楽で子育てする幸せ」を創る、音楽家と保育士の団体です。会員30名程のうち、17名が未就園児を子育て中のお母さん。受け手と担い手の双方を対象とする子育て支援は、子育て中の音楽家のコミュニティ&キャリア継続支援の場としても機能しています。

当団体は、自主公演（年間でホールコンサート20回/響室30回程度）と保育園などへの出張（同50回程度）公演をしています。人形劇の古びた人形を、2015年、かながわ生き生き市民基金の助成でプロ作家に依頼し、新たに製作しました。翌年、市民社会チャレンジ基金により、ひとみ座で人形の操り方の指導を受けることができました。出張コンサートの依頼が増え、2セットの人形対応できるようになったのは、良いタイミングでした。

今年は、新しいチャレンジとして、北区地域のチカラ助成金をいただき、「ウェルカムベビーコンサート」を開催予定です（7月16日海の日、港北公会堂）。

生活クラブ生協・神奈川の活動拠点・オルタナティブがある港北区は、「市民活動の地層がある」と言われるほどで、先駆的な子育て支援事業が豊富な地域。なのに、当事者の妊産婦と家族に情報が届きにくく、子育て支援者間でも共有されにくい現状があります。

そこで、コンサートを契機に「出会いの場」を創り、生活クラブの関連団体「フォーラム・アソシエ」からの協力を得て広報サイトを作り、子育て支援の新たな企画に取組んでいます。「街カフェ大倉山ミエ」の鈴木智香子さんと協力して、地域の諸団体と連携しながらプロジェクトを進めています。応援いただけましたらありがたいです。

生活クラブ生協・神奈川の活動拠点・出張公演の依頼を承っています

0歳からのおやこコンサート

公演日	時間	会場
4月19日(水)	11:00~12:00	横浜高輪-レクチャーホール(みなとみらい)
4月22日(土)	10:30~11:30	アートフォーラムあざみ野-レクチャーホール(あざみ野)
4月24日(月)	10:00~11:00	中原市民センター(中原小町)

ご予約

主催 NPO法人ハッピーマザーミュージック

### 編集後記

先日5歳の女児が虐待の末に放置されて死亡した。品川児童相談所は香川県から引き継ぎを受けていたが、家庭訪問で面会を拒否され対応検討中だった。本人を一目見れば虐待の事実は確認できたはずで、児相の消極さが残念でならない。しかも、2度も一時保護され、父親も2回書類送検されていることから緊急性が高い事例だ。▼虐待件数は増加の一途で、2016年3月までの一年間の相談対応件数は約10万件、10年前のおよそ3倍に上る。▼児相の人手不足解消と調査権の強化、親権の制限強化に真剣に取り組まなければ、虐待の防止はできない。

(C・M)

### 神奈川ネットは、地域政党です。

生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのはなく多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。

### 今月の神奈川ネット

- 市民の生活・活動法律相談：6/20, 7/18 (水)
- 第4回運営委員会：6/26 (火)

読んで政治を動かそう